

実況中継「土曜講座」

第1号 2023年5月10日 発行

市川学園 5月6日の土曜講座 於 國枝記念国際ホール

前野 隆司 先生

「幸福学 ～幸せに生きるとはどういうことか!?～」

慶應義塾大学教授
ウェルビーイング学会代表理事



前野 隆司 先生のご紹介

- 1962年 山口県生まれ
- 1984年 東京工業大学工学部機械工学科 卒業
- 1986年 東京工業大学理工学研究科機械工学専攻修士課程修了
- 1986年 キヤノン株式会社 入社
- 1990年 カリフォルニア大学バークレー校機械工学科
- 1993年 東京工業大学（工学）博士学位取得
- 1999年 慶應義塾大学理工学部機械工学科助教授
- 2001年 ハーバード大学応用科学/工学部門客員教授
- 2006年 慶應義塾大学理工学部機械工学科教授
- 2017年 慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長兼任

主な講義内容の紹介

今年度第1回となる土曜講座では、慶應大学教授であり、ウェルビーイング学会学長でもある前野隆司先生より、「幸福学 ～幸せに生きるとはどういうことか!?～」という題でお話を頂きました。

前野先生は東京工業大学を卒業し、株式会社キヤノンに就職後、カメラの研究をされていました。ロボットや宇宙工学に興味を持ちながら、人々の幸福を追求する道を選び、「幸せ」の応用研究に打ち込みました。簡単に言えば、感謝する人orしない人、利己的or利他的という違いが「幸せ」にどのような影響を与えるのかということが「幸せ」を研究することであり、決して宗教的な意味合いのものではありません。前野先生もそういった偏見の目にあったようですが、お話の内容は「幸せ」を科学的に分析されるものであり、お話を聞いていた生徒は新しい「幸せ」の考え方に触れることができたことでしょう。やる気があり、思いやりを持ち、他者の幸せを願う利他的な人々が「幸せ」を得られる原理について学ぶことができました。前野先生は現在の不安定な世界情勢について、逆転の発想をされていて、むしろ人々を「幸せ」に導くことができるビジネスのチャンスであると話されていました。「視野の広さ」「やる気・思いやり」「協調性」「チャレンジ精神」このような要素を持ち、人々を幸せに導く製品・組織・コミュニティをどのようにつくっていくかについて熱弁していただきました。

受講レポートから

- ・ 自分主義になってしまうと、他人と比べたり、金やモノを欲求してしまったり、それに夢中になるとどんどん追い詰められるようになってしまうので、視野を広くしたり、やる気を出したり、協調性、チャレンジ、精神、思いやりを大切にすることがとても大事だと強く感じた。 (中学1年、女子)
- ・ 幸せを一言で言うと、あまりどういものかすぐに思い浮かぶ事は無いけれど、幸せと関係する要素がたくさんあることが分かりました。今の状態に満足せず、挑戦したり、人と接したりすることが大切だと思いました。また、物事を考えすぎず、常に楽観的な部分を持っていることで幸せにつながると言うことも分かりました。 (中学2年、女子)
- ・ 幸せについての条件を知れてよかったです。私はあまりチャレンジできない性格なのですが、少しずつ生きている間に、非地位財型の幸せの4条件をクリアしたいと思います！ 私はこの講演を通して、幸福学に興味を持ちました。また留学は視野を広げることができる聞いて、より一層留学を試みたくなりました。 (中学3年、女子)
- ・ 幸せと言うのは、定量的に計るのがとても難しく、ただ漠然と幸せになりたいと思っていたが、そのように考えすぎると、そのような行動ができなかった時に思い詰め過ぎてしまって、悲観的になってしまい、逆に不幸になってしまうと知って、今までの考え方が覆された。幸せになるために、友人関係を広く持つなどの具体的な相関関係のある方法や、それによるメリットを知り、ネガティブになりすぎない程度に、それに沿った行動して、幸せな人生を送れるようにしたいと思った。 (中学3年、男子)



- ・ 日々の生活の中で当たり前であるようなことでも幸福に感じる事ができたらいいと思いますが、それは健康であることや視野を広げること、夢を持つことなど多くの要素が必要で全て自分次第だと学びました。幸せになるためには、周囲の環境が一番大切だと思っていたので、自分の心持ち次第で幸福度を上げると言うことができると知り、驚きました。さらに、幸福が他人に影響を与えると言うことで、個人が幸せになると他者にも幸せになり、日本の幸福度が上がるという話が心に残りました。自分らしさを大切にしつつ、相手との関係を広げていくことを念頭に、日々の生活を満喫したいと思います。 (高校1年、女子)

- ・ 楽観的に物事を捉える事は私にとって苦手なことなので、少しずつ考え方を改められたらいいなと思いました。幸せと思う事や基準は人によって全然違うと思っていたけれど、幸せな人の傾向があって、条件があると言う事は、幸せというのはある程度限定されている気がしました。私はまだ本当にやりたいことを見つけていなくて、進路の話になると焦っていたけれど、目標を持って、夢もいっぱい持てるように頑張ろうと思いました。 (高校2年、女子)
- ・ 幸せは自分の行動の仕方によって良くも悪くもできる。幸せとの相関関係を持つものはたくさんあり、自分がこれから生活をしていく中で、少しでも今までの自分の行動を考え、改善していけばより幸せに生活できるのではないかなと思った。ウェルビーイングと言う良好な状態という言葉を知り、ハピネスとの違いの話もとても興味深いと思った。 (高校3年、男子)

